熊野古道からのてがみ

熊野古道から
のてがみ
12 通目

十年程前だと思うのですが、木本高校の生徒が恒例の新入生ハイキングとして木本周辺の峠を歩いていると聞き、興味津々、以前から山歩きをしていた仲間たちと歩いてみました。二木島峠・逢神坂峠・大吹峠・松本峠・波田須町からの観音道、当時は石畳も見えない所もある道でしたが、標識もあり、毎年百人からの生徒が歩き続けた道なので、楽に歩けました。

一九九〇年代後半の三県（三重・和歌山・奈良）合同の事業として、東紀州一帯の古道の整備が行われ、各峠に東屋が立てられました。同時にボランティア団体も立ち上がりました。我々もなんかしようということで、一番近い松本峠のお世話をすることにしました。いつもの山の仲間と二〇〇三年四月、「だんだんの会」を結成しました。「だんだん」と言う名前は、去年のNHK朝ドラ「だんだん」と同じで、「日頃、いつもお世話になり、有難うございます、これからも共によろしく」という意味です。この地方では「だんだんとおおきに」という使い方をしていました。

それと、古道の段々を少しづつ、休まず登り続けるという意味とかけあわせています。遠く離れた出雲地方と熊野に同じ意味の言葉が残っているって、何か興味深いものを感じます。

以来、七年目を向かえて二〇名の会員の高齢化が進み、弱冠六八歳の私が励まされながら頑張っています。

二〇〇四年七月の世界遺産登録を機に、峠の雑記帳を基に年賀状を送っています。この二、三年少なくなりましたが、毎年百通弱出しております。感情のこもった返事が届きました。「思いもかけない峠からの便りが届き懐かしく拝見いたしました・・・」もう少し続けよう。(^_^;) (+_+)。

草引き作業中

筆リレー

次は 紀宝町の 山口朝さん

西一夫（にしかずお）さん（熊野市）
だんだんの会代表
熊野古道語り部友の会々員

花尻 薫からの季節のたより No.12 「波田須の弘法栗」

むかし、波田須の幼子（おさなご）たちが、高い木の先に実った栗を竿で落としていると、ほこりだらけの黒染めの衣を着た、みすぼらしい旅の僧が通りかかり、「私にも恵んでくださらぬか」と尋ねました。幼子たちは難儀して栗の実を落とし、旅の僧に差し上げました。「ありがとうよ。これからはな、小さな子たちでも手をのばせば栗の実が採れるようにしてしんぜようぞ」そう言って行ってしまったのですが、その旅の僧は空海でした。空海は弘法大師と呼ばれ、高野山を開いた有名な人です。今でも波田須には、背の低い木に弘法栗と呼ばれる小粒の栗が実ります。

栗の木は、元から切られると次から次へとたくさん芽を出し、それが小枝のように成長して実をつけます。秋から初冬へと絶え間なく実がなり、粒が小さいので子どもでも楽に採れるのです。弘法栗はシバグリと呼ばれ、日本の山の代表的な栗です。

一般に店頭で売られているのは、栽培する栗の仲間で実の大きいタンバグリです。シバクリは中国の栗と似ており、味はとてもおいしいです。

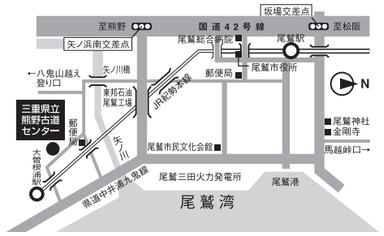
霊験あらたか？なシバグリ

センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください！

お母ちゃんのランチバイキング
尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。
営業時間：11:00～14:00
料　　金：中学生以上・・・1,200円
子ども・・・・・700円
乳幼児・・・・・無料
60歳以上・・・・1,000円

みえ尾鷲海洋深層水『夢古道の湯』
深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上り後もポカポカです。
開館時間：10:00～21:00
入 浴 料：一般・・・・・・600円
65歳以上・・・・500円
4歳～小学生 ・・300円
4歳未満・・・・無料

お風呂あがりは、カフェでまったり♪
営業時間：9:00~21:00
（ラストオーダー20:30）



●お車でお越しの方は・・・
★国道42号線で尾鷲市内
→矢ノ浜南交差点を海側へ曲がる
→突き当たりを右折
→県道を海沿いにしばらく走り、案内看板を右折して到着です。

●電車でお越しの方は・・・
★JR尾鷲駅下車
→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停
→「紀伊松本行き」乗車
→「熊野古道センター前」下車
（バス乗車時間約10分）

★松阪駅
→南紀特急バス「熊野古道センター行」終点下車（約2時間）

☆熊野古道センターニュースレター☆
“熊野古道センターからのてがみ Vol.12”
●発行日：2009年9月10日（季刊）
●編集・発行：三重県立熊野古道センター
（三重県指定管理者　NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク）
●編集担当：縣

●連 絡 先：〒519-3625
三重県尾鷲市向井字村島12-4
TEL 0597-25-2666　FAX 0597-25-2667
Mail info@kumanokodocenter.com
HP http://www.kumanokodocenter.com/

●開館時間：午前9時～午後5時
●入 場 料：無料
●休 館 日：12月31日、1月1日
（その他メンテナンス時休館）6000090910TA

三重県立熊野古道センター からのてがみ

“The Letter from Mie Prefecture Kumano Kodo Center”　2009, VOL.12

7月4日、前日の大雨から一転、晴れ。マラソンランナー・谷川真理さんが、重厚な石畳の連なる馬越峠道を歩きました。さすが現役ランナー、終盤は走ってゴール！

8月2日、またもや大雨から一転、晴れ。松本峠道を歩いたのは、オリンピック女子マラソン銀メダリスト・有森裕子さん。お2人とも、さすがの“晴れ女”でした！

ウォークのあとにはそれぞれトークショーを開き、地元中学・高校の陸上部員との応答を交えてお話をうかがいました。“走る”という競技に生きてきたお2人の、アスリート人生を通して育まれた言葉に、会場の皆さんが真剣に聞き入っていました。そして今もなお、お2人はそれぞれの道を走り続けています。

谷川さんが地雷廃絶を目的に毎年開催する「谷川真理ハーフマラソン」は、走ることが国際貢献につながるすばらしい大会です。そして、有森裕子さんが立ち上げたNPO法人ハート・オブ・ゴールドは、地雷で手足を無くした子どもたちが、義手・義足を使って走ることで希望を取り戻せるよう支援活動を行っています。

「運動は、健康と平和があってはじめてできること。その幸福を味わってもらうために、これからも走り続けます。」と、谷川さんは言います。

熊野古道センターでの谷川真理さんトークショー

また、デコボコのある石畳道を歩く熊野古道ウォークは、健康のための運動として、大変有効だそうです。

「自然のなかで行う運動は、普段使わない筋肉や神経を使うので、人のコア（核）な部分を育ててくれます。」と、有森さん。“走ること、歩くこと”は私たちの第六感に働きかけ、心と体をプラスの方向に導いてくれる・・・、お2人と一緒に熊野古道を歩いて、そのように感じました。

熊野古道は“巡礼の道”であり、“生活の道”としても古くから人々が通行してきました。しかし、使われなければ山に埋もれてゆきます。今、新たに“健康の道”として活用することは、これからも熊野古道が“道”で在り続けることにつながるのではないでしょうか。雨の多い熊野の“道”を守るために、石を敷き詰め、大変な苦労をして築いた先人に感謝しつつ、熊野古道を歩いて元気になる人が増えてゆくことを願っています。

里創人 熊野倶楽部での有森裕子さんトークショー

谷川さん熊野古道の思い出
「夜、寝る前に窓を開けると野生の鹿が２頭もいてびっくり！久しぶりの森林浴、楽しませていただきました。」
有森さん熊野古道の思い出
「自然の偉大さを感じた、ふれあいの時間でした。この良さをもっと、もっと広げてゆきたいと感じた旅でした。」

地域の情報News
Pick Up.　熊野古道の世界遺産登録5周年記念碑が建てられました

去る7月19日、熊野古道センター芝生広場に、熊野古道語り部友の会や、各保存団体、その他熊野古道の保全に関わってこられた方々によって、熊野古道世界遺産登録5周年記念碑が建てられました。

記念碑の裏面

記念碑と野呂三重県知事（右）
花尻センター長（左）

地域の財産である熊野古道を守りながら、訪れる人たちがそのすばらしさをより深く知り、楽しい思い出を作っていただきたいという思いから、地元の皆さんは日々精力的に活動されています。

今回建てられた記念碑が、5年前に世界遺産に登録される以前から、草を刈り、土を払って、埋もれていた道を復興し、守り続けてきた方々による長年の努力を顕彰するとともに、今後の活動に向けて決意を新たにするきっかけになればと思います。

＊語り部友の会への案内依頼は、東紀州観光まちづくり公社（紀北事務所：0597-23-3784、紀南事務所：0597-89-6172）まで事前にご連絡ください。

「世界遺産登録5周年記念　熊野古道フォトコンテスト」にて
作品を大募集!!

主催／三重県立熊野古道センター
共催／東紀州観光まちづくり公社

熊野古道の世界遺産登録5周年を記念して、フォトコンテストを開催いたします。

熊野古道は季節や時刻、天候などによって、様々な表情をわたしたちに見せてくれます。皆様の好きな「熊野の姿」を撮影し、奮ってご応募ください。自家プリンタによるご応募も可です。

◇応募テーマ「東紀州の熊野古道と世界遺産」
東紀州（三重県紀北町・尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町）にある熊野古道、及び世界遺産登録史跡・名勝（鬼ヶ城・獅子岩・花の窟・七里御浜・熊野川）を写し、その魅力を表現した写真。
＊詳細な応募規定は、熊野古道センターへお問合せいただくか、センターHPを御覧ください。

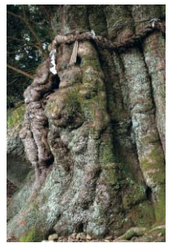
◇審査委員長
竹内敏信氏（社団法人日本写真家協会副会長、熊野古道写真学校長）

◇賞

最優秀賞	1点	賞金10万円	＊入賞・入選者には、審査終了後に直接ご連絡いたします。
優秀賞	3点	賞金3万円	
入選	多数	記念品	

◇締切
平成21年12月2日（水）　＊当日消印有効

平成19年度最優秀賞
広田和夫氏
「神宿る参詣道」
（熊野古道松本峠）


平成20年度最優秀賞
藤井徹郎氏
「神宿す樹」
（長島神社）

応募先・問合先
三重県立熊野古道センター　フォトコンテスト係
〒519-3625　三重県尾鷲市向井字村島12-4　TEL 0597-25-2666　FAX 0597-25-2667　Mail info@kumanokodocenter.com

和歌山県世界遺産センター　リニューアルOPEN

和歌山県世界遺産センターは、田辺市本宮町に7月3日オープンした世界遺産熊野本宮館内へ移転し、リニューアルオープンしました。

展示交流空間『Kii Spirit』もリニューアルし、八寸角の杉材で紀伊山地の木漏れ日の射す杉木立をイメージした展示空間は、「紀伊山地の霊場と参詣道」の自然感を表現しています。

また、交流空間で開催していました世界遺産セミナーも、世界遺産熊野本宮館多目的ホールにて開催しています。

建物の外観

和歌山県世界遺産センターの
展示交流スペース

和歌山県世界遺産センター
◇所在地：田辺市本宮町本宮100番地の1　世界遺産熊野本宮館内
◇入館料：無料
◇開館時間：9:00～17:00（年中無休）
TEL　0735-42-1044　　HP http://sekaiisan-wakayama.jp/

イベント情報
Event Info.　企画展「熊野に巨樹あり」

開催期間：平成21年9月18日（金）～11月3日（火・祝）※会期中無休
時　　間：9:00～17:00　　場所：企画展示室　　入場料金：無料

熊野に残る多くの巨樹。数百年、数千年、風雪に耐えながらそこに立ち、何を見続けてきたのでしょうか。熊野の巨樹が秘める圧倒的な存在感を最大限に表現した写真と、5人の作家による文芸作品とがコラボレーション。
写真と文芸との融合が、「熊野の森」のイメージをよみがえらせます。

写真：楠本弘児氏
文学：散文･評論／藤田明氏、詩／吉川伸幸氏、短歌／人見邦子氏、川柳／松本きりり氏、俳句／稲垣いつを氏

豊浦神社のバクチノキ（紀北町紀伊長島区）

付属企画　フォーラム「6人のアーティストが語る熊野の巨樹」
平成21年9月23日（水・祝）

企画展の制作に携わった6人のアーティストたちが、作品づくりのなかで感じた「熊野の巨樹」、「熊野の森」のイメージを語り合います。

◇ 時間：13:30～15:00　◇ 参加料：無料　◇ 定員：100名程度（申込不要・座席は先着順）
◇ 場所：交流ロビー　　◇ 出演者：楠本弘児氏、藤田明氏、吉川伸幸氏、人見邦子氏、松本きりり氏、稲垣いつを氏
◇ 司会：石原義剛氏（当センター長代行）

企画展「熊野古道と造形　宮本治・宮本京子彫刻展　―再生と無明―」

開催期間：平成21年11月8日(日)～12月5日(土)　※会期中無休
時　　間：9:00～17:00　　場所：企画展示室　　入場料金：無料

人々が信仰の道として親しみ、今も多くの人々が訪れる熊野古道。変わらずに今もそこにあり続けるのは、今もむかしも、人々の心の拠り所として求められてきたからではないでしょうか？

そんな熊野古道に魅せられた三重県津市在住の彫刻家が、この地方独特の風土や人々の思いをイメージし、木や石、ブロンズなどを使った彫刻作品を展示します。

「太古の魚」（作／宮本治）

「生成と崩壊について」（作／宮本京子）

付属企画

11月14日(土)･11月28日(土)　ワークショップ①「ブロンズの小物づくり」
ロストワックス技法により、ブロンズでペンダントやペーパーウェイトなどを制作します。とても素敵な、世界にひとつだけの作品を作りましょう。14日は成形、28日は仕上げをします。＊2回連続講座です。
◇時　間：13:00～16:00
◇参加費：2回で3,000円～5,000円 ＊当日作る作品の大きさによって値段が異なります。
◇定　員：25名（要申込）　◇ 場　所：体験学習室
◇講　師：宮本治氏・宮本京子氏

11月23日(月･祝)　ワークショップ②「テラコッタ（素焼きの彫刻）づくり」
三重県内でとれた土を使い、テラコッタ（素焼きの彫刻）を作ります。焼き物用の粘土なので形は自由自在です。出来上がった作品は、焼成して後日お渡しします。
◇時　間：13:00～16:00
◇参加料：1,000円～2,000円 ＊当日作る作品の大きさによって値段が異なります。
◇定　員：25名（要申込）　◇ 場　所：体験学習室
◇講　師：宮本治氏・宮本京子氏

交流イベント

11月7日(土)「川舟サミット　～「道」をつなぐ人々の交流会～」
熊野古道世界遺産登録5周年を記念し、紀伊半島各地で舟渡しの活動をしている団体、峠の保全や語り部の取り組みをしている方々同士のさらなる連携と交流の場として『川舟サミット』を開催します。
◇時間：13:30～16:00　　◇参加料：無料
◇定員：100名程度（申込不要）　◇場　所：映像ホール
◇内容：基調講演･･･塚本明氏（三重大学人文学部教授）「江戸時代の旅と川渡し」
各地の事例紹介･･･熊野川の三反帆、銚子川の舟渡し　他
パネルディスカッション
＊希望者のみ、17:30からキャンプinn海山にて交流会（要申込）

11月8日(日)　川舟サミットオプションツアー
昔の旅人たちも越えた、銚子川の舟渡し体験と、周辺地区の散策をします。
◇時　間：9:00～11:30　　◇集合場所：種まき権兵衛の里(紀北町海山区便ノ山)
◇参加料：500円（保険料含む）◇定　　員：15名（要申込）　＊雨天中止

主　　催：NPO法人ふるさと企画舎・三重県立熊野古道センター
後　　援：三重大学人文学部 伊勢濤・熊野地域研究センター　他
問合・申込先：
NPO法人ふるさと企画舎（担当：森本）TEL:0597-33-0077／FAX:0597-32-3800

10月3日(土)　ヒノキのあかり展「ふらり、十五夜さまにさそわれて」
秋の夜のひと時、尾鷲ひのきとお月さまを感じてみませんか。ひのき行灯が暗闇をやわらかな光で包み込みます。来場者にはいろいろなお楽しみがあります。
◇時間：18:30頃～20:30
◇場所：芝生広場　◇参加料：無料

新しい古道の歩き方

10月4日(日)「古道の景観とイヌマキの巨木めぐり　～年中ミカンのとれる町～」
湧き水流れ出る熊野古道横垣峠の水壷地蔵、日本で2番目に太いという神木西地のイヌマキの巨木、みかん畑など、古道沿いの景観を楽しみながら歩きます。
◇時　間：13:00～16:00　◇参加料：300円（資料代･保険料含む）
◇定　員：20名(要申込)　◇場　所：御浜町神木周辺
◇ガイド：清水鎮一氏（当センター監事）、中門丈夫氏（熊野古道横垣峠･浜街道サポートセンター）、立島利次氏（みかん農家）

講座・講演

10月18日(日)　自然講座シリーズ「緑の贈り物・薬草のチカラを知ろう」
熊野古道近くに自生する、多種多様な薬草の特徴や効用をわかりやすく解説したあとは、現地研修に出掛けます。薬草を使ったお茶やおやつも紹介します。
◇時間：13:00～16:00　◇参加料：500円（保険料･軽食代含む）
◇定員：20名（要申込）　◇場　所：熊野古道センター周辺、館内
◇講師：川端一氏(熊野古道語り部友の会々員)・平山浩介氏(「葉っぱがシェフ」jomonオーナー)

10月12日(月・祝)　熊野古道講座「豊浦神社で植物のひみつを学ぼう」
ヤマトタチバナやバクチノキの巨木など、社叢が県の天然記念物にも指定されている豊浦神社の豊かな植生のなかで、自然と触れ合いましょう。
◇時間：9:00～11:30　　◇参加料：300円（保険料･資料代含む）
◇定員：15名（要申込）　◇場　所：豊浦神社（紀北町紀伊長島区）
◇講師：花尻薫氏（当センター長）・山本和彦氏（尾鷲高校教諭）

12月6日(日)　自然講座シリーズ「見て、見て、聞いて、熊野の鳥たち」
熊野古道センター周辺や川辺でバードウォッチングをしたあと、熊野の鳥たちについて楽しい解説を聞きましょう。
◇時間：9:00～11:30　◇参加料：300円　◇定員：30名(要申込)＊講話のみ聴講も可
◇場所：熊野古道センター周辺、館内　　◇講師：中井節二氏(日本野鳥の会々員)

体験教室

ひのきアート教室
地域の特産品である「尾鷲ひのき」を使った、ものづくり体験教室です。月別講座のほか、毎週日曜日の13:00から15:00までは、申込不要でしおりやお箸などを作ることができます（200円～）。
9月27日(日)・10月18日(日)「お風呂マット」◇料金：2回で3,000円　＊連続講座です
11月29日(日)「クリスマス飾り」　◇料金：1,500円
12月13日(日)「お正月飾り」　◇料金：1,500円
◇時　間：13:00～16:00　　◇定員：各10名（要申込）

10月4日(日)　「東紀州の四季を味わう料理教室　～イカとアジ～」
東紀州の旬の特産品を使った、人気の料理教室です。講師は、高校生レストラン「まごの店」でも有名な相可高校の村林新吾先生と生徒さんです。
◇時　間：10:00~13:00　◇参加料：2,000円
◇定　員：24名（要申込）◇場　所：体験学習室
◇講　師：村林新吾氏（相可高校食物調理科教諭）

《お申し込みはお電話か、直接センターにてどうぞ！TEL:0597-25-2666》